



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング

コード番号 6149

URL <http://www.odawara-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石塚 立身 (TEL) 0465-83-1122

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	7,252	21.1	408	—	475	—	287	—
26年12月期第3四半期	5,986	152.2	△253	—	△252	—	△283	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 307百万円(—%) 26年12月期第3四半期 △340百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	54.18	—
26年12月期第3四半期	△48.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	12,683	8,757	64.9
26年12月期	12,837	8,520	62.2

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 8,235百万円 26年12月期 7,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	12.50	12.50
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年12月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 新社屋竣工記念配当2円50銭

27年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当10円00銭

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	19.3	400	—	500	—	250	—	47.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年12月期3Q	6,392,736株	26年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	1,088,872株	26年12月期	1,088,663株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年12月期3Q	5,303,969株	26年12月期3Q	5,829,280株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融証券取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、一部に鈍い動きもみられるものの、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善傾向が続くなど、全体として緩やかな回復基調が続きました。

一方世界経済は、中国では景気は緩やかに減速しているものの、米国では景気は回復が続き、欧州では景気が緩やかに回復し、全体としては緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開した結果、売上高は7,252百万円(前年同四半期比21.1%増)となり、利益面につきましては、営業利益は408百万円(前年同四半期は253百万円の営業損失)、経常利益は475百万円(前年同四半期は252百万円の経常損失)、特別利益として投資有価証券売却益、特別損失として厚生年金基金脱退損失を計上したことなどにより、四半期純利益は287百万円(前年同四半期は283百万円の四半期純損失)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

①巻線機事業

巻線機事業に関しては、売上がずれこんでいた大型案件が売り上がり、売上高は4,230百万円(前年同四半期比43.1%増)、生産効率の向上等により原価低減が図られた結果、セグメント利益は595百万円(前年同四半期は116百万円のセグメント損失)となりました。

②送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、生産増加等で好調を維持していた中国向け工作機械に使用する軸流ファンが中国の需要低下の影響を受けたものの、浴室照明器具の大手顧客からの受注が伸びたことや住宅着工件数が平成27年夏頃より上向いてきたことで、売上高は3,001百万円(前年同四半期比0.3%増)となりましたが、円安による材料費上昇などから、セグメント損失は22百万円(前年同四半期は58百万円のセグメント利益)となりました。

③その他

企業再生支援事業により、売上高は20百万円(前年同四半期比47.5%減)、セグメント利益は17百万円(前年同四半期比182.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、8,577百万円となりました。これは主に、商品及び製品が148百万円、仕掛品が364百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が810百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.4%減少し、4,105百万円となりました。これは主に、投資有価証券が218百万円減少したこと等によるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、12,683百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、3,487百万円となりました。これは主に、前受金が113百万円増加し、未払法人税等が127百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて42.7%減少し、437百万円となりました。これは主に、役員退職慰勞引当金が253百万円、退職給付に係る負債が103百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.0%減少し、3,925百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、8,757百万円となりました。これは主に、利益剰余金が221百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成27年2月13日に公表した業績予想に変更はありません。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,258,103	2,328,403
受取手形及び売掛金	2,831,498	2,020,942
電子記録債権	243,722	552,287
営業投資有価証券	180,144	194,601
商品及び製品	988,089	1,136,197
仕掛品	1,086,813	1,451,622
原材料及び貯蔵品	421,393	497,428
未収還付法人税等	11,318	46,676
繰延税金資産	197,431	183,336
その他	237,487	169,253
貸倒引当金	△3,107	△3,296
流動資産合計	8,452,893	8,577,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,862,673	2,894,123
減価償却累計額	△1,497,614	△1,603,351
建物及び構築物(純額)	1,365,059	1,290,772
機械装置及び運搬具	1,072,751	1,121,676
減価償却累計額	△885,358	△917,281
機械装置及び運搬具(純額)	187,392	204,395
工具、器具及び備品	1,106,597	1,178,039
減価償却累計額	△935,744	△1,011,038
工具、器具及び備品(純額)	170,853	167,000
土地	1,612,090	1,615,814
建設仮勘定	17,541	13,366
有形固定資産合計	3,352,937	3,291,349
無形固定資産		
ソフトウェア	56,089	65,755
電話加入権	5,059	5,059
その他	198	7,219
無形固定資産合計	61,348	78,034
投資その他の資産		
投資有価証券	658,943	440,441
破産更生債権等	0	0
退職給付に係る資産	250,853	259,527
繰延税金資産	20,477	997
その他	39,701	35,336
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	969,976	736,303
固定資産合計	4,384,261	4,105,687
資産合計	12,837,155	12,683,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,397,240	1,349,784
短期借入金	200,000	250,000
未払金	206,978	127,095
未払法人税等	165,551	38,386
前受金	1,306,169	1,419,754
賞与引当金	55,371	150,672
アフターサービス引当金	66,394	71,056
その他	154,695	81,079
流動負債合計	3,552,401	3,487,830
固定負債		
繰延税金負債	86,480	116,176
役員退職慰労引当金	345,210	91,390
退職給付に係る負債	276,767	173,757
資産除去債務	33,084	33,309
その他	22,247	23,344
固定負債合計	763,790	437,979
負債合計	4,316,192	3,925,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,580,813	1,580,813
利益剰余金	5,929,181	6,150,245
自己株式	△760,212	△760,346
株主資本合計	8,000,599	8,221,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,811	104,266
繰延ヘッジ損益	△591	139
為替換算調整勘定	△128,882	△90,391
その他の包括利益累計額合計	△20,663	14,014
少数株主持分	541,026	521,788
純資産合計	8,520,962	8,757,331
負債純資産合計	12,837,155	12,683,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,986,889	7,252,817
売上原価	4,898,243	5,578,793
売上総利益	1,088,646	1,674,023
販売費及び一般管理費	1,342,425	1,265,754
営業利益又は営業損失(△)	△253,779	408,269
営業外収益		
受取利息	4,019	5,626
受取配当金	57,494	54,074
その他	47,656	31,266
営業外収益合計	109,169	90,967
営業外費用		
支払利息	1,184	1,083
為替差損	—	10,709
減価償却費	5,936	4,989
持分法による投資損失	97,019	3,422
その他	4,148	3,366
営業外費用合計	108,289	23,571
経常利益又は経常損失(△)	△252,899	475,665
特別利益		
固定資産売却益	397	11
投資有価証券売却益	—	81,836
新株予約権戻入益	100	—
特別利益合計	497	81,848
特別損失		
固定資産除売却損	197	728
減損損失	77,855	—
厚生年金基金脱退損失	—	134,149
特別損失合計	78,053	134,877
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△330,455	422,636
法人税、住民税及び事業税	123,015	63,805
法人税等調整額	△86,250	78,327
法人税等合計	36,765	142,132
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△367,220	280,503
少数株主損失(△)	△83,779	△6,861
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△283,441	287,364

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△367,220	280,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,227	△10,253
繰延ヘッジ損益	2,321	730
為替換算調整勘定	8,820	36,361
その他の包括利益合計	26,369	26,839
四半期包括利益	△340,851	307,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△258,450	322,042
少数株主に係る四半期包括利益	△82,400	△14,698

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,956,835	2,991,419	5,948,254	38,635	5,986,889	—	5,986,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	408	408	—	408	△408	—
計	2,956,835	2,991,827	5,948,662	38,635	5,987,298	△408	5,986,889
セグメント利益 又は損失(△)	△116,113	58,317	△57,795	6,275	△51,520	△202,258	△253,779

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△202,258千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「巻線機事業」において、一部の連結子会社で当第3四半期連結会計期間に、将来の回収可能性を検討した結果、当初予測したキャッシュ・フローが見込めないため、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しました。

なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては77,855千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,230,725	3,001,790	7,232,516	20,301	7,252,817	—	7,252,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	490	490	—	490	△490	—
計	4,230,725	3,002,281	7,233,007	20,301	7,253,308	△490	7,252,817
セグメント利益 又は損失(△)	595,535	△22,753	572,782	17,698	590,480	△182,210	408,269

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△182,210千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。